

学びと人材育成

経営目標を達成するために欠かせないのが人材育成。ここでは、中産大(中小企業産業大学校)のような外部機関が実施する研修を効果的に人材育成に活用する方法について考えます。



第1回

集合研修活用の効果とは

企業の人材育成というと、仕事を通して上司が部下を指導するOJT(職場内教育)が主流です。日常的に教育の機会が得られるので、個人のレベルに合わせ実践的なスキルを身に付けることができます。一方、指導者に負担がかかる、指導者の資質・能力によって効果が左右されやすい、体系的な学習が困難といったデメリットもあります。これらの欠点を補うのがOff-JT(職場外教育)であり、外部機関が実施する集合研修はこの典型です。

中産大では、企業の皆様の人材育成を支援するため、多彩な研修を実施しています。今回は、集合研修活用のメリットを、中産大の研修に照らし合わせながら解説します。

✓ 多方面から新たな気づきを得る

集合研修は職場から離れ必要な知識・スキルを習得する場であり、日常業務では得られなかった考え方を身につけることができます。また、講師からだけでなく、他の受講者からも学びを深められる特長もあります。特に中産大の研修には演習・グループワークを豊富に取り入れており、受講者から貴重なヒントを得ることができます。

✓ 異業種交流・人脈構築に活用

集合研修には、業種・職種・年齢層などが異なる様々な人たちが一堂に集まります。特に、中産大の「平成塾」「眼鏡ゼネラリスト育成講座」といった長期研修では、異業種交流やネットワークづくりの場としても活用することができますので、受講を機に親交を深め、ビジネスに活かされている方も大勢いらっしゃると思います。

✓ 研修スタッフが受講者をサポート

主催者側には、有意義で満足度の高い研修を提供する重要な役目があります。中産大では、スタッフがアシスタントとして研修をオブザーブし、講義状況の把握や受講者へのアドバイスのほか、研修後も講師への質問の取り次ぎや受講状況の報告、次の学びにつなげるための提案など、フォローを行っています。

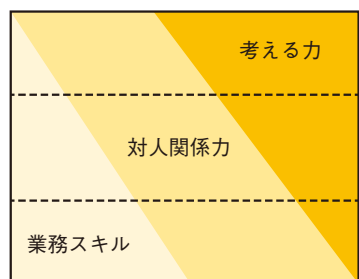
ほかにも中産大研修にはこんな特長があります

多彩な研修ラインナップ — 階層別、ものづくり、営業、マーケティング等、多彩なジャンルで研修を構成(2017年度は40本実施予定)

定評ある講師陣 — 東京などで活躍する講師を起用し、上質な研修を提供

高い総合満足度 — 受講者アンケートの「非常に良い」「良い」の合計が93.7%(2016年度)

ビジネスの基礎力は「階層別研修」から



▲ロバート・カッツ氏がまとめた「カッツモデル」を参考に、ビジネスに必要な基礎力を図示

ビジネスの基礎的なスキルは、考える力・対人関係力・業務スキルの3つに大別でき、中産大では、これらのスキルを求められる立場に応じて効果的に身につけることができるよう階層別研修を実施しています。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 経営者 | ○平成塾2017 |
| 管理者 | ○管理者のためのマネジメント力強化セミナー |
| | ○新任管理者の基礎知識 |
| リーダー
中堅社員 | ○リーダーシップ養成講座 |
| | ○「自発的行動」を引き出す部下育成講座 |
| 若手社員 | ○中堅社員の目標達成力強化セミナー |
| 新入社員 | ○若手社員のための「先読み仕事術」 |
| | ○若手社員のための「わかりやすく伝える力」強化セミナー |
| | ○新社会人のための仕事の基本を学ぶ講座 |

次号から、
中産大研修の活用について
具体的にご紹介します。

【問い合わせ先】

(公財)ふくい産業支援センター
人材育成部(中小企業産業大学校)
電話: 0776-41-3775
メール: manabi@fisc.jp

研修の詳細は
ホームページをご覧ください

中産大

検索

